

カイロプラクティックドクター

スポーツカイロ
トレーナーとして
人の健康に貢献でき、
独立開業もめざせます。

どんな 資格

アメリカで誕生したカイロプラクティック。身体を中心である背骨のズレを手で矯正して全身の神経生理機能のバランスを整え、健康増進をめざす。その技能を、日本カイロプラクティックドクター専門学院が学院修了生に対して認定。

どう 学ぶ?

日本カイロプラクティックドクター専門学院のカリキュラムは2年(昼間・夜間)。基礎医学の知識とともに実践的な技術を修得する。資格取得者が開く施術院でのインターン実習や、カイロプラクティックの本場アメリカでの実習研修もある。

どう 稼ぐ?

資格取得者の就職先はカイロプラクティック施術院のほか、接骨院、鍼灸院、病院、老人ホーム、リラクゼーションサロン、スポーツクラブ、エステティックサロンなど幅広い。独立開業する人が多く、年収1000万円以上を稼いでいるケースも。

編集長の 注目ポイント

資格を取って即戦力で活躍するには、実技の経験を積み、自信を持って施術できるようになりたいもの。この資格は、取得をめざす過程で、現場で通用する技術を習得できるのが特長。資格認定を受けるには2年学んで修了することが条件ですが、技術が身につくことを目的とした現場でのインターン実習など、実技科目の比重が高いのです。そんな実習授業等で“修業”を経験し、資格取得後すぐに独立開業する人もいます。

ここが おススメ

カイロの施術と トレーニング指導の 両面からサポート

この資格はさまざまな分野で活用できるが、最近、増えているのがスポーツの分野で活躍する資格取得者だという。その一人が松浦さんだ。現在、スポーツカイロトレーナーとしてカイロの施術を行うとともに、トレーニング指導にも携わっている。「例えば、肩こりや腰痛などに悩む方に対してカイロの施術で筋肉をほぐし、さらにトレーニングで筋肉を鍛えていただくことで痛みを出にくくする。施術とトレーニングの相乗効果で、調子がよくなった」と喜ぶお客様の笑顔に達成感を感じます。

トレーニング指導で人の身体を鍛え、
カイロプラクティックの施術で
人のコンディショニングをケアする。
自分の理想の仕事に就けました。



トレーニング指導中の松浦さん。「職場は学院の付属で、学んだ先生方とも交流が続いています。今もわからないことがあると先生に教わっています」

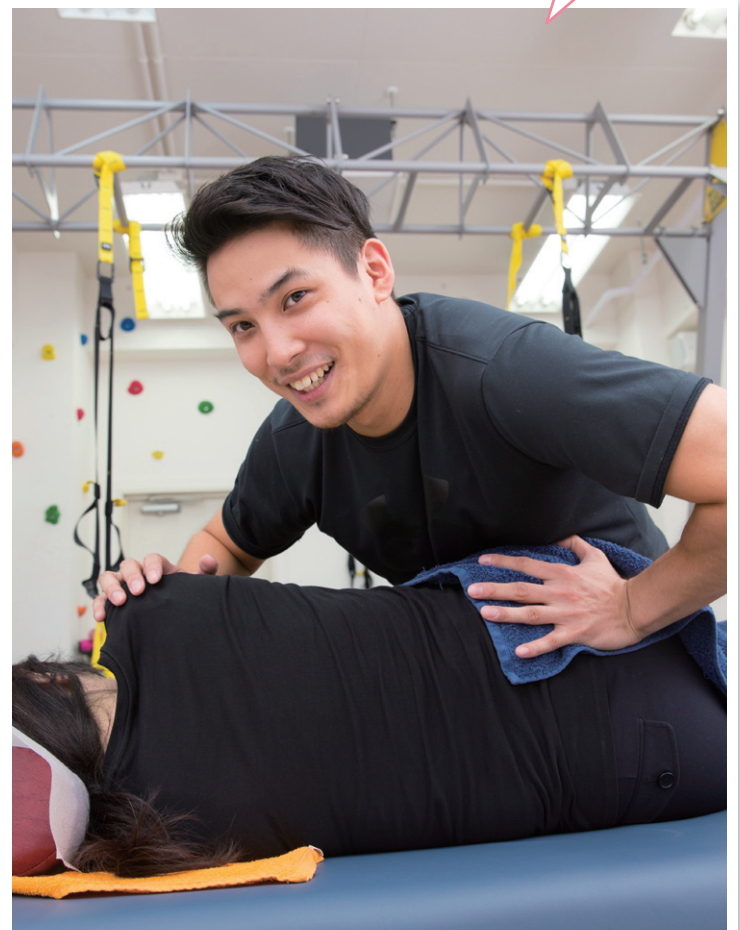
自分は天職に就けたと思います」
こう話す松浦さんは、高校・大学と、アメリカンフットボール部に所属していたスポーツマン。が、10代の頃から今の仕事を志したのでなく、カイロプラクティックの存在すら知らなかったという。

就職活動をするなかで 自己分析をし、 やりたい仕事を模索

きっかけは、大学4年の就職活動。「一般企業を回り、内定をいただきました。でも、自分が本当にやりたい仕事を考えたとき、サラリーマンではなかったのです。好きなことは、トレーニングで自分の体を鍛えること」

とと、人の体をケアすること。大学時代、僕は病気で試合に出られない時期があり、選手にマッサージをしたり、サポーターに徹していました。が、充実していませんでした。そうした好きなことを仕事にしたいと思いました。めざす方向性は見えたが、道筋が見えず、大学は留年。そんななかでカイロの存在を知り、学院に見学へ。施術を受けて全身が軽くなったことに感動し、決心が固まった。

学院で2年学び、資格を取得。生活費のために早朝と夜間にアルバイトをしながら頑張った2年間だった。資格取得後、学院付属の施術院に就職。トレーニングスタジオが併設され、20代から80代まで、幅広いお客様と接している。将来は独立して自分の施術院を開きたいという。「今は超高齢社会。多くの人が若々しく健康でいられるよう、役に立ちたいです」と夢を語ってくれた。



松浦卓也さん(27歳)

日本カイロプラクティックドクター専門学院で学び、12年資格取得。現在、学院付属の「ARS新宿カイロプラクティックセンター」高田馬場店に勤務。